

建国記念日

JJ1SXA/池

昨日は月曜日でしたが、建国記念日でお休みでした、私のようにサンデー毎日の身にはあまり関係ありませんが、現役の皆さんにとっては貴重なお休みですね。

「雲に聳ゆる高千穂の高嶺下しに草も木も靡き伏しけん大御世を仰ぐ今日こそ楽しけれ」・・・尋常小学校唱歌(作詞・高崎正風)

この唱歌をうろ覚えでも知っている人は、かなりのシルバー世代、かくいう私も小学校3年生までは、紀元節(古いねえ・・・今の建国記念日)に学校で斉唱させられました、国旗が飾られ、御真影(天皇、皇后のお写真・・・普段は見ることのできない、何とか殿に格納されていた)を遥拝、校長の教育勅語朗読、「朕思うに我が皇祖皇宗・・・」と続き「御名御璽」で終わり、意味も良くわからずただひたすら聞いているのみ、「朕」は天皇ご自身のこと、「御名御璽」が、天皇のご署名と、国の公印であることを知ったのは後年のこと、当時は「御名御璽」というのは「終わり」という言葉の別の言い方だと思いこんでいました、それよりも、行事の最後に配られる、紅白の饅頭が、唯一の楽しみ、会場で私語などもっての外、咳をただけでもひどく叱られる、そんな幼年期を思い出すと、「君が代」斉唱に起立しない先生が裁判で勝つ、つくづく平和を感じます。

紀元節・建国記念日は、神武天皇の即位の日(何度か変わって、2月11日に落ち着いた)ということですが、国旗・国歌の制定等、全て明治時代の事、明治維新は評価するものの、勝てば官軍、負ければ賊軍、かの有名な「白虎隊」も賊軍、徳川に最後まで尽くした会津藩が、賊軍の汚名を着たままで良いのか？明治維新で功績があったというだけで、国を勝手に動かすことが本当に良いことなのか？当時まだ未成年の明治天皇を擁立して、国の行く末をリードした人たちの行為はいかがだったのでしょうか？

そもそもが神武天皇は、族の長として国内の戦争を勝ち上がった後、日本を一つの国に纏め上げた功績ある人ではあるが、「万世一系」(これも明治時代から言われた言葉)連綿と続く天皇家として、これを最大限利用して、明治貴族にのし上がった・・・言い過ぎか？そういう人たちも多くいたのでは無いかと思っています。

それよりも、天皇は生き神様として神格化し、全国民の大半に信じ込ませた教育は、大正、昭和に引き継がれ、とどの詰まりは、敗戦国に導いたのでは無いか？

かの国の将軍様を見ればわかるように統一された教育は恐ろしい、私も小学校の低学年で、後何年経ったら、予科練に行ってお国のために散れるのかなどと本気で思っていたが、完全に洗脳されていたようです。

建国記念日を祝う式典もあれば、建国記念日反対の集会もあります、日本が平和で自由な国であることの証か？平和ボケをしてはいけませんが、いつまでも平和で自由な国であって欲しいと思った、祝日の一日でした。 12, Feb, 2008 JJ1SXA 記